

【分配金のお知らせ】

2016年11月25日
野村アセットマネジメント株式会社

「ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)」「毎月分配型」の
2016年11月24日決算の分配金について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)」「毎月分配型」(以下、ファンドといいます。)の2016年11月24日決算の分配金についてご案内いたします。

今回の決算におきまして、アジア通貨等の動向や基準価額水準および為替取引によるプレミアム等のインカム収入の状況などを総合的に勘案し、「アジア通貨コース」の分配金を30円から20円に引き下げることといたしました。なお、「円コース」「資源国通貨コース」につきましては、前回決算の分配金額から変更ありません。「アジア通貨コース」の分配金引き下げに関する詳細な説明については次ページ以降をご参照ください。分配金額と基準価額は下表の通りです。

【分配金】(1万口当たり、課税前)

ファンド	円コース (毎月分配型)	資源国通貨コース (毎月分配型)	アジア通貨コース (毎月分配型)
分配金額	10円	30円	20円
(前回決算)	(10円)	(30円)	(30円)
決算日の基準価額	8,195円	6,954円	9,540円
決算日の基準価額 (分配金再投資)	8,838円	9,297円	12,238円
(前回決算)	(9,206円)	(9,412円)	(12,175円)
分配金額設定来累計	670円	2,310円	2,300円

前回決算:2016年10月24日、設定日:2011年4月26日

* 基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したのとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

* 分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【「毎月分配型」の分配の方針】

原則、毎月23日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。なお、毎年3月および9月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※「原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、先物取引等を実質的な取引対象とします(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

「アジア通貨コース(毎月分配型)」分配金引き下げの背景

今回の決算におきまして、「アジア通貨コース(毎月分配型)」の分配金を30円から20円に引き下げました。

「アジア通貨コース(毎月分配型)」の基準価額は、2015年3月頃より下落基調となり、2016年11月24日現在、9,540円、2015年3月末からの騰落率は-25.0%、また分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-21.0%となりました。

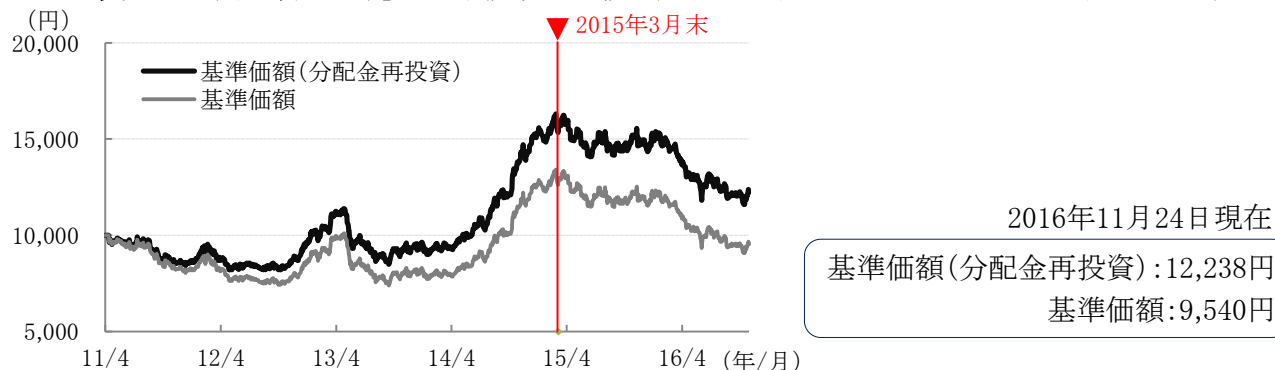
基準価額下落の主な要因としては、アジア通貨安やファンドが投資対象とする外国投資信託の運用に用いる独自の定量モデル(「AHLプログラム」)のパフォーマンス低下(次ページご参照)が挙げられます。また、アジア通貨の短期金利が低下したため、為替取引から得られるプレミアムによるインカム収入が減少しました。

アジア通貨の為替レート(対円)は、2015年半ば以降下落(円高)基調となりました。背景としては、原油などの商品価格の低下や中国経済の成長鈍化懸念の高まり、日銀によるマイナス金利の効果に対し懐疑的な見方が優勢となったことや、2016年11月に控えた米大統領選挙に対する不透明感の高まりからリスク回避姿勢が強まったことなどが挙げられます。

アジア通貨の短期金利は、2014年以降、概ね低下基調で推移し、2016年10月末現在、5.1%となりました。

アジア通貨安や「AHLプログラム」の運用パフォーマンス低下などを要因とした基準価額の下落、プレミアムによるインカム収入の減少などを総合的に勘案し、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

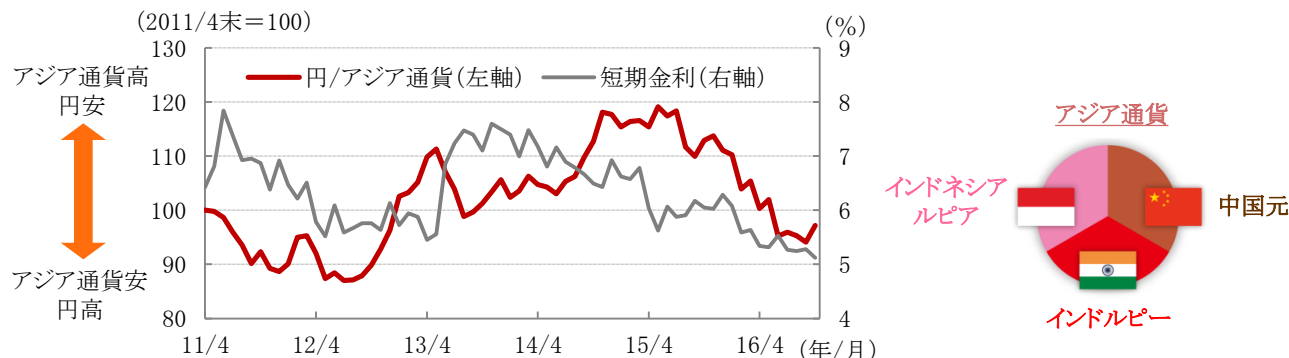
< 「アジア通貨コース(毎月分配型)」の基準価額の推移 期間:2011年4月26日(設定日)~2016年11月24日、日次 >



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

< アジア通貨の為替レート(対円)と短期金利の推移 期間:2011年4月末~2016年10月末、月次 >



アジア通貨および短期金利については、4ページ「当資料で使用した通貨・金利について」をご参照ください。

(出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、先物取引等を実質的な取引対象とします(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

3～4ページはファンドが投資対象とする外国投資信託「マネージド・フューチャーズ・ディバーシファイド・ファンド」を運用するAHLパートナーズ・エルエルピーの情報に基づき野村アセットマネジメントが作成したものです。

AHLプログラムの運用概況

「アジア通貨コース」を含む各コースは、円建ての外国投資信託「マネージド・フューチャーズ・ディバーシファイド・ファンド」の対応する各通貨クラスに主に投資します。各通貨クラスで行なわれる為替取引の影響を除く外国投資信託の収益は、AHLパートナーズ・エルエルピーが運用を担当する「AHLプログラム」の活用によります。

(1) AHLプログラムのパフォーマンスについて（2014年12月26日～2016年10月27日）

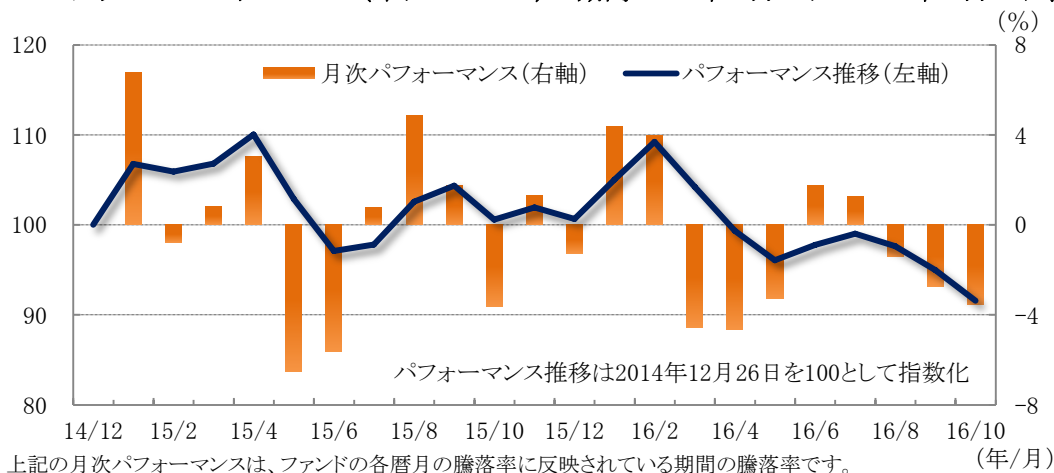
- AHLプログラムは2015年4月をピークにパフォーマンスが低調となっています。
- 2015年1月～4月にかけて比較的堅調な結果となりました。欧州では、ECB(欧州中央銀行)による大規模な量的金融緩和の決定、日本では良好な企業業績の発表や日本銀行による「量的・質的金融緩和」の拡大等を背景に株高トレンドが継続しました。債券・短期金利市場では、欧州と日本での金融緩和に加えて、原油価格安による世界的な物価下落圧力等を背景に、概ね上昇トレンドが観測されました。通貨市場ではユーロ安トレンドが進展しました。
- 2015年5月～2016年2月にかけては強弱交錯する運用結果となりました。ギリシャに対する金融支援問題、中国の人民元切り下げ、米国の利上げ時期に関する憶測等の様々な要因を背景に、多くの市場ではトレンドが継続しにくい傾向となりました。
- 2016年3月～2016年10月にかけては低調な運用結果となりました。6月下旬の予想外の英国のEU(欧州連合)離脱決定に伴う投資家心理の悪化やその後の急回復が様々な資産クラスに影響を及ぼした他、天然ガス等の一部のエネルギー市場ではトレンド反転が観測されました。

このような市場環境下、AHLプログラムは、米国債やドイツ国債のロング・ポジションの他、ユーロダラー金利※1のロング・ポジション等、債券及び短期金利セクターからは収益を計上した一方で、特に英国のEU離脱決定に伴う株式や通貨市場でのトレンド反転を背景に米S&P500株価指数のロング・ポジションやVIX指数※2のショート・ポジション、米ドルのショート・ポジションから損失を被りました。また天候の影響によりトレンドが反転した大豆やトウモロコシのショート・ポジションもマイナス要因となりました。

※1 米国外の銀行に預けられた米ドルを指すユーロダラーに対する、3ヵ月物金利を取引する先物。

※2 シカゴ・オプション取引所(CBOE)が、S&P500株価指数を対象とするオプション取引のボラティリティを元に算出、公表している指数。

< AHLプログラムのパフォーマンス(米ドルベース) 期間:2014年12月26日～2016年10月27日、月次 >



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(2) 直近のAHLプログラムの状況

＜ AHLプログラムの主なポジション 2016年10月31日現在 ＞

セクター	銘柄	ポジション
農産物	砂糖	買い
債券	ドイツ国債	買い
通貨	英ポンド/米ドル	英ポンド売り/米ドル買い
エネルギー	天然ガス	買い
短期金利	ユーロダラー	買い
金属	金	買い
株式	S&P500株価指数	買い

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(3) 今後の市場の見方 以下の内容は当資料作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

- 運用環境に対するAHLパートナーズ・エルエルピーの見方は大きく変わっていません。引き続き、各国中央銀行の金融政策や選挙などの政治イベント等が運用環境を左右すると考えています。2016年については、米国の利上げ観測、英国のEU離脱決定、米大統領選挙などの政治イベントに対する市場参加者の思惑等から各市場が短期間で大きく方向転換する展開となりましたが、長期的には市場にはトレンドが繰り返し発生するものと考えています。
- AHLプログラムは今後も一貫して価格の上下のトレンドを収益機会として捉えるマネージド・フューチャーズ戦略による運用を続けていく所存です。

今後とも「ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)」をご愛顧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

以上



＜ 当資料で使用した通貨・金利について ＞

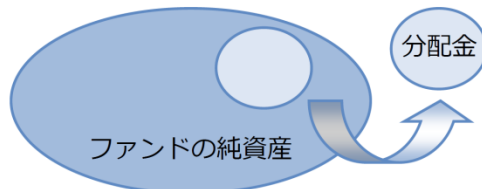
アジア通貨の為替:3通貨(中国元、インドルピー、インドネシアルピア)に等分投資し、毎月末にリバランスをしたと仮定し、計算しています。なお、手数料等は考慮していません。

アジア通貨の短期金利:3通貨(中国元、インドルピー、インドネシアルピア)の短期金利の平均値です。

中国元:上海インターバンク・オファード・レート1ヵ月、インドネシアルピア:インドネシア・ジャカルタ・インターバンク・オファード・レート1ヵ月、インドルピー:インターバンク・オファード・レート1ヵ月

分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

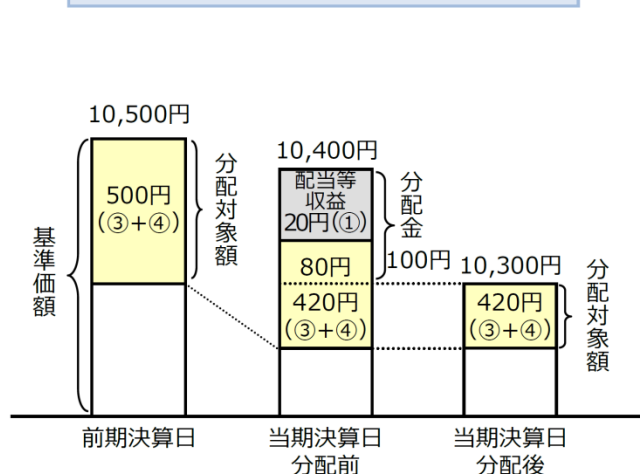
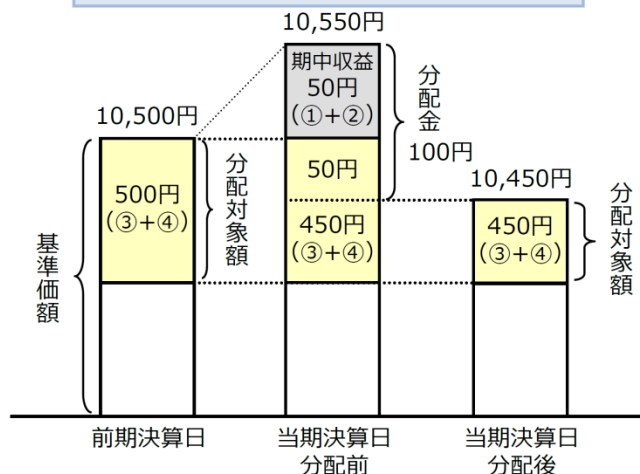
・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

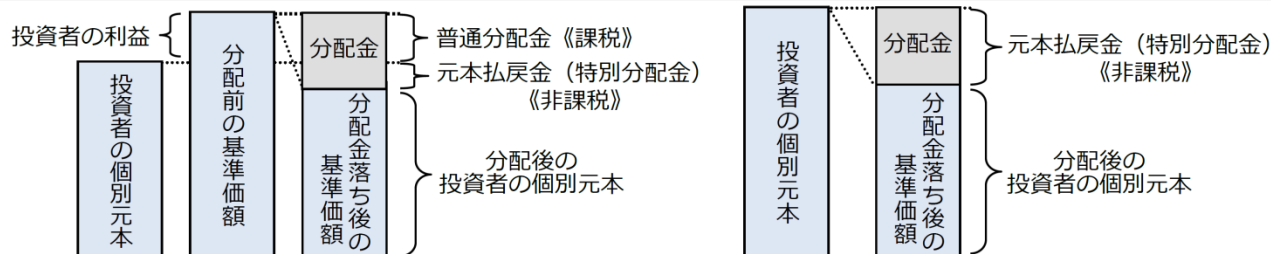
前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。



※投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)
(毎月分配型) / (年2回決算型)

【ファンドの特色】

- 「ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる3つのコース(円コース、資源国通貨コース、アジア通貨コース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))から構成されています。
- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界各国の債券先物取引、株価指数先物取引、金利先物取引、商品先物取引および為替予約取引等を主要取引対象とする、円建ての外国投資信託「マネージド・フューチャーズ・ディバースファイド・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を主要投資対象とします。

■外国投資信託「マネージド・フューチャーズ・ディバースファイド・ファンド」の主な投資方針について■

- ◆ 世界各国の債券先物取引、株価指数先物取引、金利先物取引、商品先物取引、および為替予約取引等を積極的に活用し、主として市場動向の方向性にそって多数の先物等についてロング・ポジション、あるいはショート・ポジションを構築することにより、中期的に米ドルベースでの絶対収益の獲得を目指して運用を行なうことを基本とします。
- ◆ 各投資対象市場における日々の価格データ等を勘案した多数の独自の定量モデルを活用することにより、市場の上昇トレンドならびに下降トレンドの双方を捉え、追従することを目指します。

- ・ 各コースは、外国投資信託において、共通ポートフォリオを通じて債券先物取引、株価指数先物取引、金利先物取引、商品先物取引および為替予約取引等の運用を行ないます。

円コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	共通ポートフォリオの通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額とほぼ同額程度、米ドル売り円買いの為替取引を行なう外国投資信託に投資を行ないます。
資源国通貨コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	共通ポートフォリオの通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額とほぼ同額程度、米ドル売り資源国通貨(ブラジル、オーストラリア、南アフリカの3カ国の通貨のバスケット)買いの為替取引※1を行なう外国投資信託に投資を行ないます。
アジア通貨コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	共通ポートフォリオの通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額とほぼ同額程度、米ドル売りアジア通貨(中国、インド、インドネシアの3カ国の通貨のバスケット)買いの為替取引※2を行なう外国投資信託に投資を行ないます。

※1 米ドル売りブラジルレアル買いの為替取引、米ドル売り豪ドル買いの為替取引、米ドル売り南アフリカランド買いの為替取引を、純資産総額の3分の1程度ずつ行ないます。

※2 米ドル売り中国元買いの為替取引、米ドル売りインドルピー買いの為替取引、米ドル売りインドネシアルピア買いの為替取引を、純資産総額の3分の1程度ずつ行ないます。

◆ 通常の場合においては、「マネージド・フューチャーズ・ディバースファイド・ファンド」への投資を中心としますが、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。

※通常の場合においては、「マネージド・フューチャーズ・ディバースファイド・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

- 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 「ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

● 分配の方針

◆毎月分配型

原則、毎月23日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。なお、毎年3月および9月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※「原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

◆年2回決算型

原則、毎年3月および9月の23日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、先物取引等を実質的な取引対象とします(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)
(毎月分配型) / (年2回決算型)

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて様々な先物取引等を実質的な取引対象としますので、株価変動、金利変動、商品価格の変動等の影響により基準価額が下落することがあります。また、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、取引先リスクなどがあります。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成33年3月23日まで(平成23年4月26日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月23日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
【年2回決算型】年2回の決算時(原則3月および9月の23日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌々営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:300万以上1万円単位(当初元本1口=1円)
自動けいぞく投資コース:300万以上1口単位または300万円以上1円単位
- ご換金価額 ※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
ご換金申込日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、下記に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。

円コース 資源国通貨コース	○申込日当日または翌営業日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨークの銀行・ニューヨーク証券取引所 ・ロンドンの銀行・ルクセンブルグの銀行
アジア通貨コース	○申込日当日または翌営業日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨークの銀行・ニューヨーク証券取引所 ・ロンドンの銀行・ルクセンブルグの銀行 ・ジャカルタの銀行 ○申込日当日または翌営業日が、中国またはインドの連休等で、ご購入、ご換金のお申込みの受付を行わないものとして委託会社が指定する日の場合

- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2016年11月現在)

◆ご購入手数料	ご購入価額に4.32%(税抜4.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.026%(税抜年0.95%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 実質的にご負担いただく信託報酬率(信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値) 年3.326%程度(税込)+成功報酬 ^(注) (注)成功報酬: 毎月ファンド営業日*の共通ポートフォリオにおける成功報酬控除前基準価額がその時点のハイ・ウォーターマーク [*] を超えた場合、その超過額の20% *1 ニューヨーク、ロンドンおよびルクセンブルグにおける銀行営業日(毎年12月24日を除く。)、且つ日本における第一種金融商品取引業者(証券会社など)の営業日、且つニューヨーク証券取引所の開場日。 *2 ハイ・ウォーターマークは過去の共通ポートフォリオの成功報酬控除後基準価額の最高額(設定当初は設定時の元本額)とします。
◆その他の費用・手数料	組入の有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に利率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万円につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依り異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会

◆お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人金融先物取引業協会/一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★

http://www.nomura-am.co.jp/



★携帯サイト★

http://www.nomura-am.co.jp/mobile/

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、先物取引等を実質的な取引対象とします(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。